

テーマ

人口減少と高齢化社会とICTを見据えた 新たな借金を作らない持続可能な庁舎

ランニングコストを抑え将来を見越した変化に対応できる庁舎

縮小社会に対応可能

庁舎の大きさ

- ・コンパクトな庁舎
- ・必要最低限の大きさで設計
- ・低層の庁舎
- ・小さくなれる庁舎
- ・メンテナンスが簡単でコストが掛からない

将来に向けて

- ・使わなくなった時を見越した施設計画を行う
- ・柔軟に使い方を变化できるづくり
(他の用途にもつかえるなど)

メンテナンスしやすい庁舎

- ・窓はペアガラス
(断熱・遮音)
- ・奇抜ではなくシンプルな形状
- ・設備の更新を安く、簡単に

庁舎と市民の思い

- ・市民が負担だと思わない庁舎
- ・借金をふやさない庁舎

庁舎と合わせて考えたい

- ・他施設のライフサイクルを配慮した計画
- ・庁舎単体でなく、中心市街地を面として考えた政策

運用によるコストの削減

- ・ICTを導入し、人件費を削減

環境にやさしい最新技術を採用

- ・最新の省エネ技術の導入
- ・自転車や歩行者をメインにした周辺整備
- ・周辺に森をつくる

市民の声を 取り入れた設計

設計の過程を公開

- ・今までの説明が不十分
- ・知りたい情報が知れない
- ・返済計画をしっかりと説明して欲しい

市民に開かれた議場

- ・議員の顔が傍聴席から見える
- ・議会が外からも様子を伺えるようなづくり
- ・車いすでも見やすい傍聴席
- ・エントランスに近くアクセスしやすい位置に配置

「運用として」

- ・傍聴席でのルールに市民目線を入れる（共感できる発言に拍手するなど）

市民の安全・安心を支える

災害に強い庁舎

- ・耐震性の高い庁舎
- ・災害時に司令塔の役割を果たすことができる
- ・AEDを適切な配置で完備
- ・十分な備蓄倉庫を持つ

プライバシーが守られる

- ・セキュリティがしっかりしている設計、動線計画
- ・周りを気にせず相談できる窓口や相談室

ユニバーサルデザイン

- ・階段の手摺は両側につける
- ・すべての場所へエレベーターを使ってアクセスできる
- ・段差を少なくする
- ・高齢者、障害者、外国人に優しく、不自由しない庁舎のづくりやサービスの提供

使い勝手の多様化

- ・直接庁舎に行かなくても用事が足せるようなシステムの導入

**市民目線を大切に、情報を共有して、
継続的に市民と庁舎づくりを行う。**